

# 算数科

単元名 「なんばんめ」  
指導時数 2時間扱い

ねらい

- ものの順序を、数を用いて正しく表すことができるようにするとともに、順序数の概念について理解する。

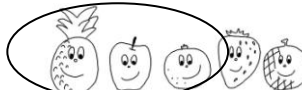
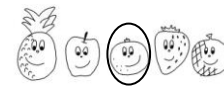


幼稚園・保育所で経験してきたこと


- 日常生活や遊びの中で、場所や場合に合った列数になって並んだり、「前から何番目」「上から何枚」などの順序数や、「前から何人」などの集合数が使われた、教員の話聞いて行動したりする活動を経験している。

接続を踏まえた指導の工夫

- 日常生活で何気なく使われていた、順序数（着順を示す「○番」、位置を表す「～から○番目」と集合数（「～から○人」）について教科書の挿絵と言葉とを結び付けながら理解させる。さらに、実際にかけっこや綱引きをさせたり、並ばせて立たせたり、座っている列で手をあげさせたりし、実際の生活場面に近い活動を行いながら、理解を深めさせていく。

## 学習活動例

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
1/2	<p>1 絵を見て、どんな場面か話し合い、問題場面に関心をもつ。</p> <p>2 競争の場面で数を用いて順位を表す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     幼稚園や保育所で何かの競争をしたことがありますか。順番を決めるときにどんな言い方をしていましたか。                 </div> <p style="text-align: center;">1 位 2 位、1 番 2 番、1 等賞 2 等賞・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ボートレースの絵を見て、順位を言いましょう                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 位はニンジンさんです。</li> <li>2 番はナスさんです。</li> <li>3 等はピーマンさんです・・・</li> </ul> <p>3 水上スキーの絵を見て、位置（前・後）を前から何番目のように表す。また、順序数と集合数の違いを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     果物はどんな順に並んでいるでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイナップルさん、リンゴさん、ミカンさん・・・の順に並んでいます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     前から 3 番目の果物は何ですか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミカンさんです。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     前から 3 人の果物を言いましょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイナップルさん、リンゴさん、ミカンさんです。</li> </ul> <p>4 灯台で応援している果物や野菜の絵を見て、位置を上から（下から）何人目、何人のように表す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     サツマイモさんのいるところは、どんな言い方ができますか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>上から 4 番目です。上から 4 人目です。</li> <li>下から 2 人目です。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     上から 3 人はだれですか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ももさん、じゃがいもさん、レモンさんです。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     上から 3 人目はだれですか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>レモンさんです。</li> </ul>	<p style="text-align: right;"><b>算数【10日目以降】</b></p> <p>○プロジェクタで教科書の絵を映す。</p> <p>○何をしている仲間がいるか、絵と果物や野菜の名称などを確認してから、展開するようにする。</p> <p>★これまでの競争した経験や順位を表す言葉を想起させる。</p> <p>○数を使うと順序を正確に表すことができることを押さえる。</p> <p>○同じ位置であっても、違う言い方ができることを押さえる。</p> <p>○板書に絵を提示し、順序数「なんにんめ」と集合数「なんにん」の違いをしっかりと理解させる。</p> <p>〈板書例〉</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="margin-right: 20px;">                         まえから 3 にん                     </div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="margin-right: 20px;">                         まえから 3 にんめ                     </div>  </div> <p>○位置の表し方は前後だけでなく上下のような表し方があることに気付かせる。</p> <p>〈板書例〉</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div>                         うえから 3 にん もも・じゃがいも・れもん                     </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div>                         うえから 3 にんめ れもん                     </div> </div>

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
1/10	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 代表で前に出た児童について、何人目、何人のように表す。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前から○人目の友達の名前を言いましょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">窓側から○人の友達の名前を言いましょう</p> <p>3 児童の座席を利用して何番目（何列目）何番のように表したり、行動したりする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の座っている場所を、数を使って教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、前から 2 番目です。</li> <li>・私は、廊下側から 3 番目です。</li> <li>・私は、右から 3 番目です。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前から 4 人立ちましょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前から 4 人目の人は立ちましょう</p> <p>4 プリントの問題を解く。</p> <p>5 いろいろな友達とジャンケンをして、5 人の人に勝った人から順番に、先生の横に並んでいきましょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 番はだれでしょう。2 番はだれでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>5 人の人に勝ったら、先生の横に順番にならびましょう</p> <p>じゃんけんぽん</p> <p>僕 1 番！</p> <p>わたしは二番目よ。</p>  </div>	<p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">算数【10日目以降】</p> <p>○教科書の「大きなかぶ」の絵を用いて「～○番目」「～○番」を思い出させる。</p> <p>○実際の生活場面の中で、学習したことを活用させ、理解を深めさせていく。</p> <p>○「前から何番目の人は前に出てきてください。」と数人の児童の代表を指名し、前に一列で並ばせ、順序数や集合数で表現させる。縦隊や横隊など並び方を変えても表現できるようにさせる。いろいろな列を交代で指名し、練習させる。</p> <p>☆生活科の「みんなとなかよし」と関連させ、友達の名前を積極的に覚える意欲付けとする。</p> <p>○左右は、向かっている方向によって逆になるので混乱しやすい。発達段階を考えて配慮して使わせていく。教室の前に「みぎ」「ひだり」のカードを掲示しておくといよい。</p> <p>○問題を教員がゆっくり読んで、数字を入れさせたり、○で囲ませたりするなどの指示を分かりやすく伝える。書画カメラなどでプリントを映し、場所を示しながら説明するとよい。</p> <p>○時間が余れば、机を下げて、広いスペースでジャンケンゲームをする。</p> <p>○勝った人から、先生の横に並び、輪になって座っていくようにする。</p> <p>☆生活科の「みんなとなかよし」と関連させ、友達と触れ合い、友達の名前を言うなどして友達づくりの機会としていく。</p> <p>★☆☆算数の時間だけではなく、プリントを集めるときに「前から何番目の人集めてください。」や物を配るときに「後ろから 2 人来てください。」などの声かけを、幼児期と同様に意図的に活用する。体育のかけっこなどでも順番を表す言葉を使っていくことで定着を図っていく。</p>